

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る / 学ぶ / 訪ねる /

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091

【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp

【HPアドレス】

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

2018.7  
第34号



## 市指定有形文化財（建造物）日本多家住宅長屋門を公開しています

おたかの道湧水園入口の日本多家住宅長屋門は平成27年度から平成29年度にかけて行なっていた保存修復工事を終えて、平成30年4月22日より建物内部の一般公開を開始しました。

公開初日は午前11時にお披露目式を開催し、正午から午後4時30分まで学芸員の解説を交えた見学会を行いました。当日は約500人の来館者が見学会に参加し、学芸員の説明に熱心に耳を傾けていました。

おたかの道湧水園では、史跡武蔵国分寺跡を主に紹介する資料館に加えて、近世から近代の国分寺市の歴史や当時の生活に触れることが出来るようになりました。今後とも奈良時代からの歴史を積み重ねている当地域において、歴史遺産を活かしながら継承していく核として、運営に取り組んでいきます。来園の際には資料館とともにぜひお立ち寄りください。



来賓の方々による開門  
(お披露目式にて)



お披露目式の様子



2階展示室



見学会の様子

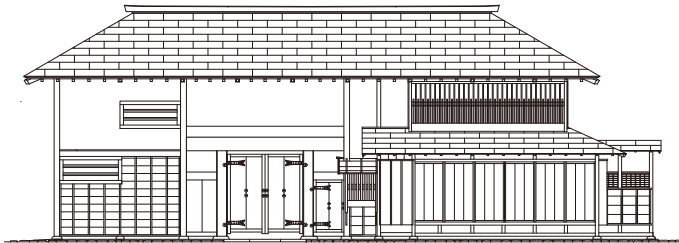


長屋門全景（南東より）

## 日本多家住宅長屋門の施設案内

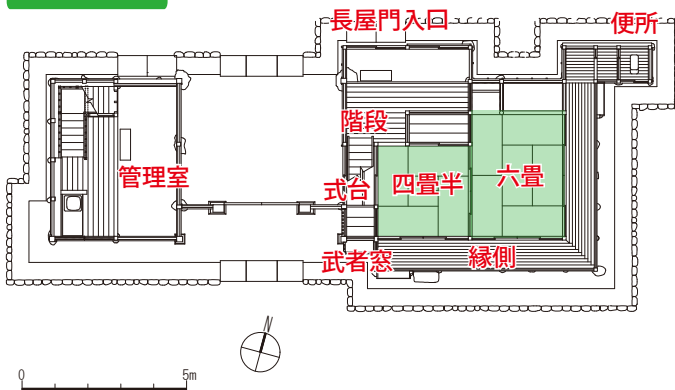
保存修理工事では建物を解体しながらその構造を調べ、可能な限り部材を再利用する形で創建当時の姿に復元し、1階西側の土間は管理室として、2階の物置は展示室として活用しています。

### 南立面図



長屋門（南側正面）

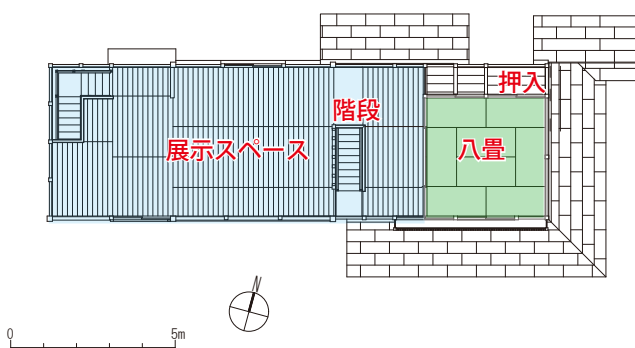
### 1階座敷



1階四畳半間風景

日本多家住宅長屋門は江戸時代末期に国分寺村の名主であった本多家の表門と先代名主の隠居所を兼ねて建築された2階建ての建物です。1階東側には六畳と四畳半の座敷、縁側、便所の居住設備が設けられ、農家の長屋門としては珍しい形式となっています。

### 2階展示スペース・座敷



2階展示風景

2階展示スペースにおいて、近世から近現代の国分寺の歴史・民俗を題材に、国分寺村の沿革、長屋門に縁のある村医者本多雖軒、国分寺村の養蚕、長屋門の発掘調査・保存修理工事について紹介しています。

押入の壁には当時の人が描いた落書きを見ることが出来ます。八畳間の座敷では民具を展示し近代の生活空間を表現しています。

平成 30 年度 6 月以降の国分寺市文化財普及事業の予定は以下の表のとおりです。

月	日(曜日)	行 事
6	8日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座①
	22日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座②
7	6日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座③
	20日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座④
	21日(土)	●都立武蔵国分寺公園連携事業「ディスカバリーツアー(昆虫編)」開催(雨天22日) ●教育3課(図書館課・公民館課・ふるさと文化財課)連携事業(8月26日まで)
	28日(土)	●夏季企画展「日本多家長屋門公開記念—新規収蔵品展—」(9月17日まで)
8	3日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑤
	17日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑥
	31日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑥[ボランティア認定式]
9	8日(土)	●こくぶんじジュニア歴史検定
10	6日(土)	●秋季企画展「国分寺の学校—明治時代の学校教育—(仮)」(11月25日まで)
	10日(水)	●市内文化財めぐり(定員30名、事前申込制)
	16日(火)	●都立殿ヶ谷戸庭園連携事業
	18日(木)	●おたかの道湧水園無料公開(おたかの道湧水園開園記念日)
	下旬	教育7DAYS開始(11月上旬まで)
11	4日(日)	国分寺まつり ●おたかの道湧水園無料公開、史跡ガイドボランティア現地解説(僧寺金堂跡、真姿の池ほか) ●レプリカ作成(予定)
	17日(土)	●市外文化財めぐり(下野国分寺跡、定員45名、事前申込制)(予定)
12	上旬	●ボランティアフォローアップ研修
1	下旬	多摩郷土誌フェア(予定 会場:立川市女性センターアイム1階)
	26日(土)	●文化財防火デー 消防訓練(国分寺消防署・国分寺市消防団・ふるさと文化財課その他)
2	上旬	●歴史講演会(予定)
	26日(火)	●都立殿ヶ谷戸庭園連携事業

※記号説明: ●→ふるさと文化財課主催・共催事業、○→ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座、無印→ふるさと文化財課関連行事  
※内容、日程は変更することがあります。

## 文化財書籍刊行のお知らせ

### 販売図書

#### 「住田正一古瓦コレクションの世界一瓦に魅せられて」

すみ だしょういち  
平成 17 年に国分寺市に寄託された住田正一古瓦コレクションを取り扱った図録です。当コレクションは 50 余国の国分寺瓦で構成された、全国の国分寺瓦をほぼ網羅している学術性の高い資料です。本書では平成 21 年度に開催された同名の開館記念特別展を基に、住田氏の古瓦にかける情熱を通じて瓦の魅力を紹介しています。



発行日:平成 30 年 3 月 5 日  
サイズ:A4判/フルカラー  
ページ数:80 頁  
価 格:定価 700 円

### 配架図書

※販売していません

#### 「国分寺市史料集 6 柳屋小柳家文書 2」

昨年度刊行された「国分寺市史料目録Ⅳ・史料集 5」の続刊です。柳屋小柳家文書の中から料理屋営業・人力車営業・煙草小売店営業に関する 147 点の資料を掲載しています。

#### 【主な配架施設】

国分寺市立図書館、武蔵国分寺跡資料館、オープナーなど



# 平成29年度の史跡整備工事

国指定史跡武蔵国分寺跡では僧寺伽藍中枢部を対象に整備工事を進め、平成29年度から2ヵ年計画で金堂跡基壇復元工事を実施しています。

平成29年度の整備では河原石を積み上げた乱石積基壇を復元し南面と北面に階段を設置しました。周囲には雨落石敷を巡らせ、礎石を露出させつつ、失われた礎石をコンクリートで表現しました。更に床面には埴土を敷き安置されていた仏像の台座を平面表示した須弥壇も配置し、当時の堂内を再現しました。平成30年度も引き続き金堂跡とその周辺の整備を実施します。



礎石部分



僧寺金堂跡（南西から）

## 来館者数

2009年10月18日～2018年4月末日

来館者数累計 117,536名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
12	913	24
1	521	24
2	528	24
3	839	27
4	1,249	26
計	4,050	125

【12月～4月の学校見学】  
〔学年〕、〔人数〕、小=小学生、中=中学生、高=高校生、大=大学生、院=大学院生  
<市内>  
第四小学校〔小6〕(159)、第十小学校〔小6〕(60)  
<市外>  
和光高校〔高2〕(32)、東京学芸大学〔大〕(4)、東京学芸大学教育学部〔大〕(27)

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

## 武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



### 交通のご案内

※駐車場はありません

【電車】○JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ○JR西国分寺駅下車／徒歩約15分

【バス】○国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分

○国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

○国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

### ■開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

### ■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）  
年末年始（12月29日から1月3日まで）  
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

### ■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）  
一般……………100円（年間パスポート1,000円）  
中学生以下……………無料

### 【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
- その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕  
※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード